佐賀大学教育学部附属小学校　学校だより　第２０号

ふれあいⅡ

学校教育目標
「やさしく　かしこく　たくましく
自分のよさを生かして
未来を創ろうとするしゃちっ子」
の育成

令和8年2月27日 校長 重松 景二

愛でいっぱい、学びでいっぱい、遊びでいっぱいの学校にする

アップデートしよう（未来を創るのは子どもたち）

２月ですけど　日差しは…

朝、校門で登校してくる子どもたちに「おはようございます」と声をかけています。これまでは寒さもあり、返ってくるあいさつも小さな声のことが多くありましたが、最近は大きな声が聞こえるようになってきました。ずいぶん暖かくなってきたからでしょうか。日差しも強く、２月とは思えないほどです。

学校評価への御協力、誠にありがとうございました。ご意見の中にコートに関するものがございました。昨年度、制服店の在庫不足や取り寄せに時間がかかる状況があったことから、規定のコート以外の着用も認めております。このことは12月初めの学校だよりでもお知らせしておりましたが、十分に伝わらなかった点があったとすれば反省しております。現在、さまざまな色のアウターが見られますが、色については黒や紺など、華美でないものを着用していただきますようお願いいたします。新年度４月に改めて服装についてのお便りを配付いたしますので、コート以外の点も含めてご確認ください。下校時刻についてもご意見をいただきました。本校は入学時にお伝えしておりますとおり、大学と連携して教育研究を進めている学校です。そのため、公立校と比べて研究に関する研修や会議、大学への相談等を多く行っています。これまでは時間外に実施することも少なくありませんでしたが、できるだけ勤務時間内に行えるよう校時の工夫を重ねております。その結果、下校時刻を一定にせず、時期や曜日によって変更しています。授業時数については、もともと余裕をもって計画していたこともあり、週単位・月単位で見直しを行い、適切にスリム化しています。授業時数が不足することのないよう十分配慮しておりますので、ご安心ください。宿題や問題集への取組は学年によって異なります。疑問等がございましたら、担任までお尋ねいただくのがよいかと思います。いじめや問題行動につきましては、来年度、個人が特定されないよう十分配慮しながら、起こった事象についてお知らせしていきたいと考えております。方法については検討中です。

ありがとう　６年生…

19日（木）に「6年生を送る会」を開催しました。インフルエンザ流行のため、２・３年生と４・５年生は入れ替え制で実施しました。各学級からのメッセージを伝えるオープニング動画で幕を開け、その後、１年生から順に発表を行いました。１年生は、運動会での６年生を彷彿とさせるソーラン節を披露。力いっぱい、かっこよく踊りました。２年生は、６年生をヒーローに見立てた劇を発表。６年担任クイズもあり、会場は大いに盛り上がりました。３年生は「３年とうげ」をモチーフにした「６年とうげ」の劇を披露。ここでも６年担任クイズがあり、楽しいひとときとなりました。４年生は『鬼滅の刃』をモチーフに、６年生の活躍を劇で表現しました。心のこもった歌の贈り物もありました。５年生は、６年生のこれまでの活躍を振り返る劇を発表。その中には「６年生ならどうする？」というクイズもあり、最高学年へのあこがれが感じられました。そして６年生は、この１年間を振り返りながら、感謝の気持ちを込めて歌を贈ってくれました。紙面の都合で詳しくお伝えできないのが残念ですが、会場は終始あたたかな雰囲気に包まれ、感謝の気持ちあふれる「６年生を送る会」となりました。